

USMCA 発効（2020年7月）以降に発動された「事業所特定の迅速な労働問題対応メカニズム（RRM）」については以下の記事を参照。

<解決済み>

1. メキシコ・グアナファト州シラオ市にあるゼネラルモーターズ（GM）の工場での労働権侵害の疑い（[2021年7月12日記事](#)、[2021年9月24日記事](#)）
2. メキシコ・タマウリパス州マタモロス市にある自動車部品メーカー、トリドネックスの工場での労働権侵害の疑い（[2021年8月12日記事](#)）
3. メキシコ・タマウリパス州レイノサ市にある自動車部品メーカー、パナソニック・オートモーティブ・システムズの工場での労働権侵害の疑い（[2022年7月15日記事](#)）
4. メキシコ・コアウイラ州フロンテラ市にある自動車部品メーカー、テクシド・イエロの工場での労働権侵害の疑い（[2022年8月18日記事](#)）
5. メキシコ・コアウイラ州ピエドラス・ネグラス市にある自動車部品メーカー、マヌファクトゥラス VU の工場での労働権侵害の疑い（[2022年9月20日記事](#)）
※但し、本工場では2回目の労働権侵害の事実が確認され、2023年3月末に米墨政府と合意した改善策を履行中だったが、同年10月に閉鎖となっている（[2023年10月12日記事参照](#)）
6. メキシコ・ケレタロ州にある米自動車部品メーカー、ユニーク・ファブリケーティングの工場での労働権侵害の疑い（[2023年4月26日記事参照](#)）
7. メキシコ・グアナファト州にある自動車部品メーカー、矢崎グループの工場での労働権侵害の疑い（[2023年10月5日記事参照](#)）
8. メキシコの貨物航空会社マス・エアでの労働権侵害の疑い（[2023年11月9日記事参照](#)）

<米国・メキシコ両国合意の改善策を履行中>

1. メキシコ・サンルイスポトシ州にある米タイヤ大手、グッドイヤーの工場での労働権侵害（[2023年7月21日記事参照](#)）
2. メキシコ・グアナファト州にある自動車部品メーカー、ドラクストンの工場での労働権侵害（[2023年8月2日記事参照](#)）
3. メキシコ・アグアスカリエンテス州にある衣服メーカー、インダストリアス・デル・インテリオール（INISA）の工場での労働権侵害（[2023年8月10日記事参照](#)）

<米国がメキシコにパネル設置を要請>

1. メキシコ・サカテカス州にある同国鉱山開発最大手グルーポ・メヒコ所有のサン・マルティン鉱山での労働権侵害の疑い（[2023年8月23日記事](#)、[2023年8月29日記事参照](#)）

ジェットロ「ビジネス短信」添付資料

<米国からメキシコへ事実確認を要請済み>

1. メキシコ・アグアスカリエンテス州にある自動車部品メーカー、テクラス・オートモティブの工場での労働権侵害の疑い ([2023年9月26日記事参照](#))
2. メキシコ・サンルイスポトシ州にある自動車部品メーカー、アジアウェイ・オートモティブ・コンポーネンツの工場での労働権侵害の疑い ([2023年10月25日記事参照](#))
3. メキシコ・タマウリパス州ヌエボラレドにある米建機大手キャタピラーの子会社テクノロヒア・モディフィカーダでの労働権侵害の疑い ([2023年10月30日記事参照](#))

以上